

生活と社会 (Living and Society)

国際協力論 2 -四国から世界へ 輝く瞳のつくり方- (International Cooperation Studies 2)

饗場 和彦・教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 前期 水 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『総合科目』)

【授業の目的】社会に積極的に寄与する公共的なマインドを持ち、国際的な視野と知見・コミュニケーション力、かつ四国・徳島の在住者として地域に根ざした視点も備えた人材を、「国際協力」というテーマを通して育成する。

【授業の概要】国際協力活動の実践者を学外から招き、理論と実践について学ぶ。JICA(国際協力機構)四国支部と、四国 NGO ネットワークの協力を得て、開講される授業。講師は NGO や政府機関、国際機関などの一員として世界各地で活躍する多士済々の人々。授業担当者(饗場)も国際協力の一環として国際的な選挙支援活動に関わっており、主に紛争地における平和構築を研究テーマのひとつにしている。

【キーワード】国際協力, JICA, NGO, 国際社会, 平和構築

【関連科目】『生活と社会/国際政治学入門』(0.5), 『生活と社会/政治とメディア』(0.5)

【到達目標】国際協力の理論と実践について知識を得、意義や課題について考察し、自らも行動する意欲を高める。

【授業の計画】

1. イントロダクション・基礎講座
2. アフリカ・ザンビアにおける貧困と保健・医療などの支援
3. カンボジアにおける貧困と教育、保健・医療、職業訓練などの支援
4. 中国・内モンゴルにおける貧困と教育などの支援
5. イラクにおける紛争と平和構築の支援
6. カンボジアにおける紛争と地雷処理の支援
7. シエラレオネにおける紛争と武装解除の支援
8. 国際連合による多様な支援
9. ODA と国際協力機構 (JICA) による支援
10. 徳島県や行政による取り組み
11. ソーシャルビジネス (企業) の取り組み
12. 人間の安全保障と平和構築
13. ゲームとワークショップ (1)
14. ゲームとワークショップ (2)
15. 補足と総括

【教科書】特に指定しない。

【参考書等】授業中に適宜、配布する。

【成績評価の方法】期末レポートと平常点 (出席回数、授業への取り組み方) で評価する。おおむね期末レポート 40%、平常点 60%。

【再試験の有無】無し。

【受講者へのメッセージ】講師や内容は変更される可能性がある。昨年度の「国際協力論 - 四国から世界へ 知って理解し動ける人に-」とは内容が違うので、昨年度のこの授業を履修していても今年度の「国際協力論 2 -四国から世界へ 輝く瞳のつくり方-」の受講は可能。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220761>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 饗場 (088-656-7186, aibak@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日13:30~ 14:30, 金曜日14:30~ 16:00. この時間以外でも在室時はいつでも可.)